

書籍『図説 %Z法と対称座標法の入門』の正誤表（初版 **第3刷**、**第4刷**）

題記の書籍をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。その書籍の中で、下表に示す箇所に誤記がありましたので、お詫びして訂正します。
 なお、下表の「訂正箇所」の欄に赤色で示した事項が、今回の追加訂正分です。 著者；柴崎 誠

訂正箇所	誤っている表記	正しい表記
P152 の 6 行目	・・・電源電圧値の E_{SA} , E_{SA} , E_{SA} を・・・	・・・電源電圧値の E_{SA} , E_{SB} , E_{SC} を・・・
P161 の(11・17)式	(説明) 右辺の () 内の分子に負符号が付いている。 $\dot{V}_1 = \dot{E}_{SA} - \dot{Z}_1 \cdot \dot{I}_1 = \left(1 - \frac{-\dot{Z}_1}{\dot{Z}_0 + \dot{Z}_1 + \dot{Z}_2} \right) \dot{E}_{SA}$	(説明) 右辺の () 内の分子の負符号を削除する。 $\dot{V}_1 = \dot{E}_{SA} - \dot{Z}_1 \cdot \dot{I}_1 = \left(1 - \frac{\dot{Z}_1}{\dot{Z}_0 + \dot{Z}_1 + \dot{Z}_2} \right) \dot{E}_{SA}$
P192 の例題 6 の「解法と解説」の中の(1)式から 2 行上から	(説明) 次の二重線を施した 3 か所の「 3 」が余分であるため、3 か所とも「3」を削除する。 ・・・ 題意の未補償分の 11 869[kV・A/相]の値から 3 % Z_C [%] の値、及び、零相分% Z_0 [%]の値を、3% R_N [%]と 3 % Z_C [%] の並列合成値で求めます。 $\del{3}\%Z_C[\%] = -j \frac{10\,000 [\text{kV} \cdot \text{A}]}{3[\text{相}] \times 11\,869 [\text{kV} \cdot \text{A}/\text{相}]} \times 100[\%] = -j\,28.08[\%] \quad (1)$	
P253 の(26-1)式	$+j5 \times (X_{G2} + X_T) \div \frac{1}{-j5 \times 2 \omega C_1} \quad (26-1)$	$ 5 \times (X_{G2} + X_T) \div \left \frac{1}{5 \times 2 \omega C_1} \right \quad (26-1)$
P282 の図 30・10 の中のアーク表示	(誤記内容の説明) 図 30・10 の中の上相の A 相、中相の B 相、下相の C 相の <u>3 相分の全ての碍子表面にて閃絡状態を表すアークを描いてある。</u>	(修正方法の説明) 図 30・10 の中の <u>中相と下相の碍子表面のアークを消去して、上相の碍子表面のアークのみを残し、A 相にて 1 線地絡故障を生じている状態に修正する。</u>
以下余白	以下余白	以下余白

以上